

**【実況・解析結果・考察】**

日本海には上空に寒気を伴ったトラフがあってゆっくりと東に移動しています。

この影響で日中以降は西日本から東日本にかけての広い範囲で雷雲が発生し局地的にまとまった降水が観測されました。梅雨前線は本州の南海上に南化しています。

日本付近は広い範囲で湿潤空気、上昇流域、トラフに伴う正渦度領域に覆われています。

ダクト発生条件はそろいにくかったと推定しますが、7～0エリア間のオープン情報が確認されました。

7～0エリア間は日中晴天域に覆われていて、850hpa面の湿数分布解析から湿数3度以上乾燥域の存在が推定されることから、局地的にダクトが形成されやすい状態であったと推測します。

**【オープン情報】**

7月1日のダクト発生域(推定)



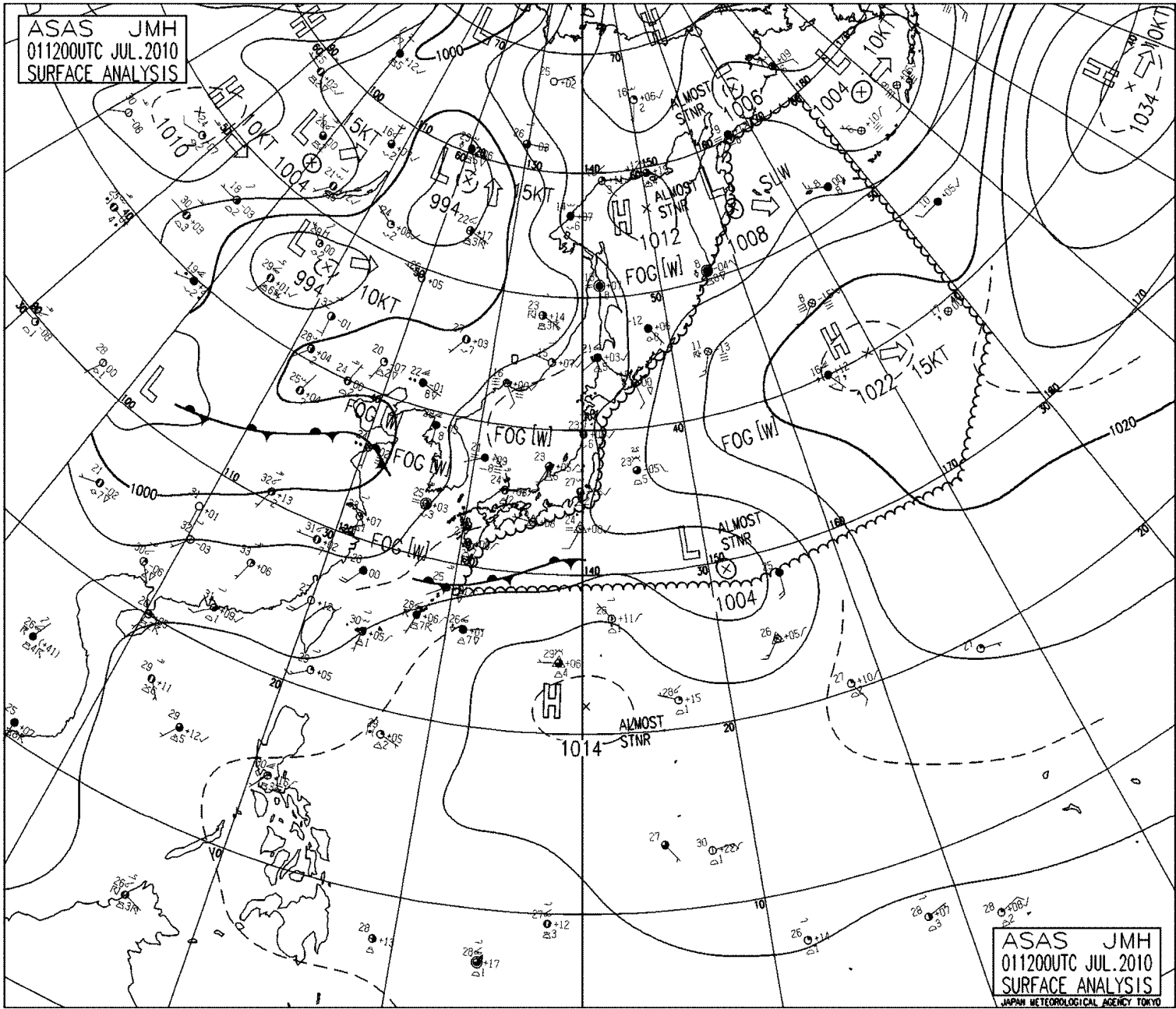
ダクト発生による  
7～0エリア間オープンが確認されました

JH7RYN 府金さんからの情報

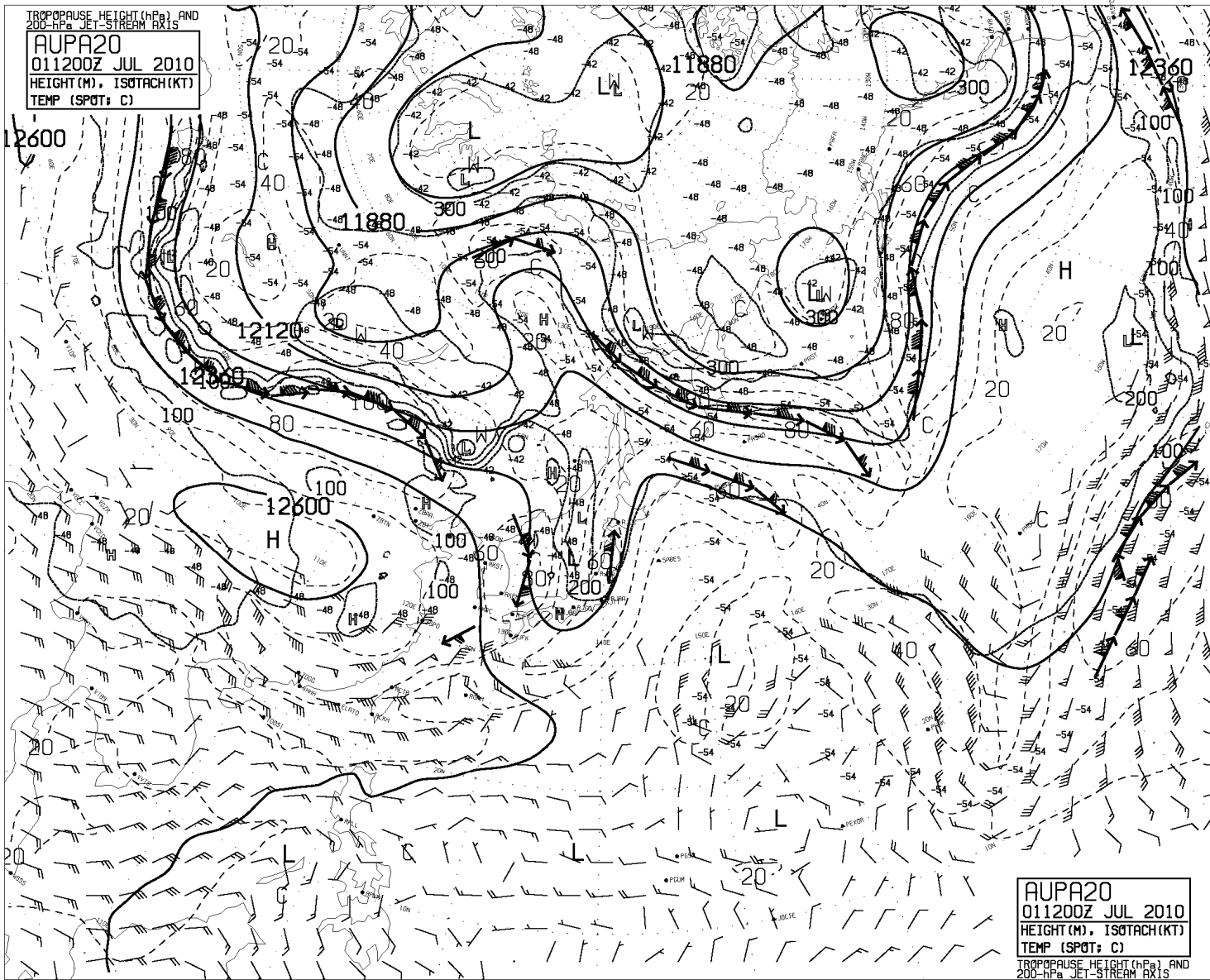
22:40～22:45 7L3HZZ/0(新潟県長岡市)–JH7RYN/7(秋田県秋田市) RS 59QSL–51QSL

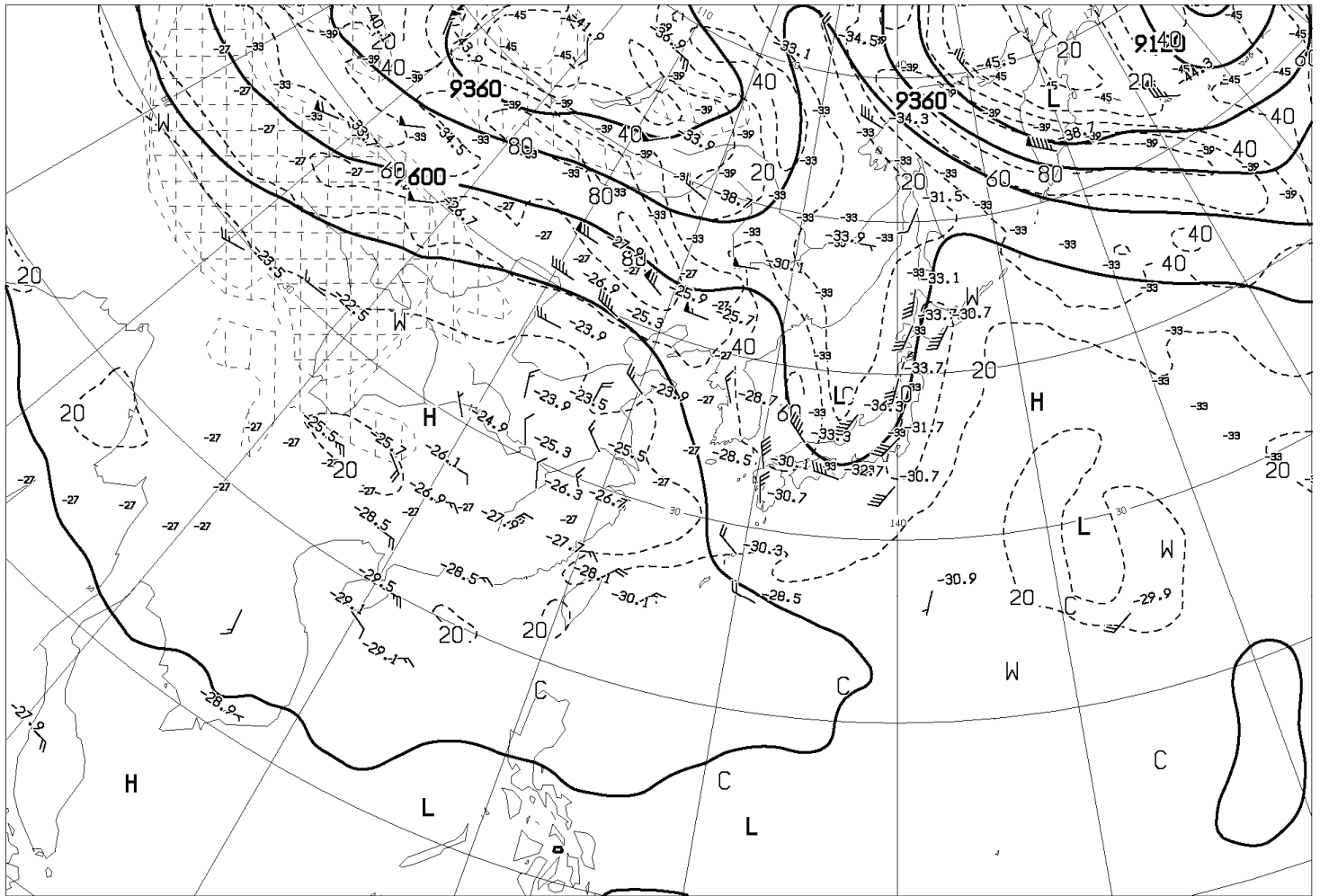
QSBを伴いましたが交信成立しました。ダクト? 海上伝搬でしょうか?

---

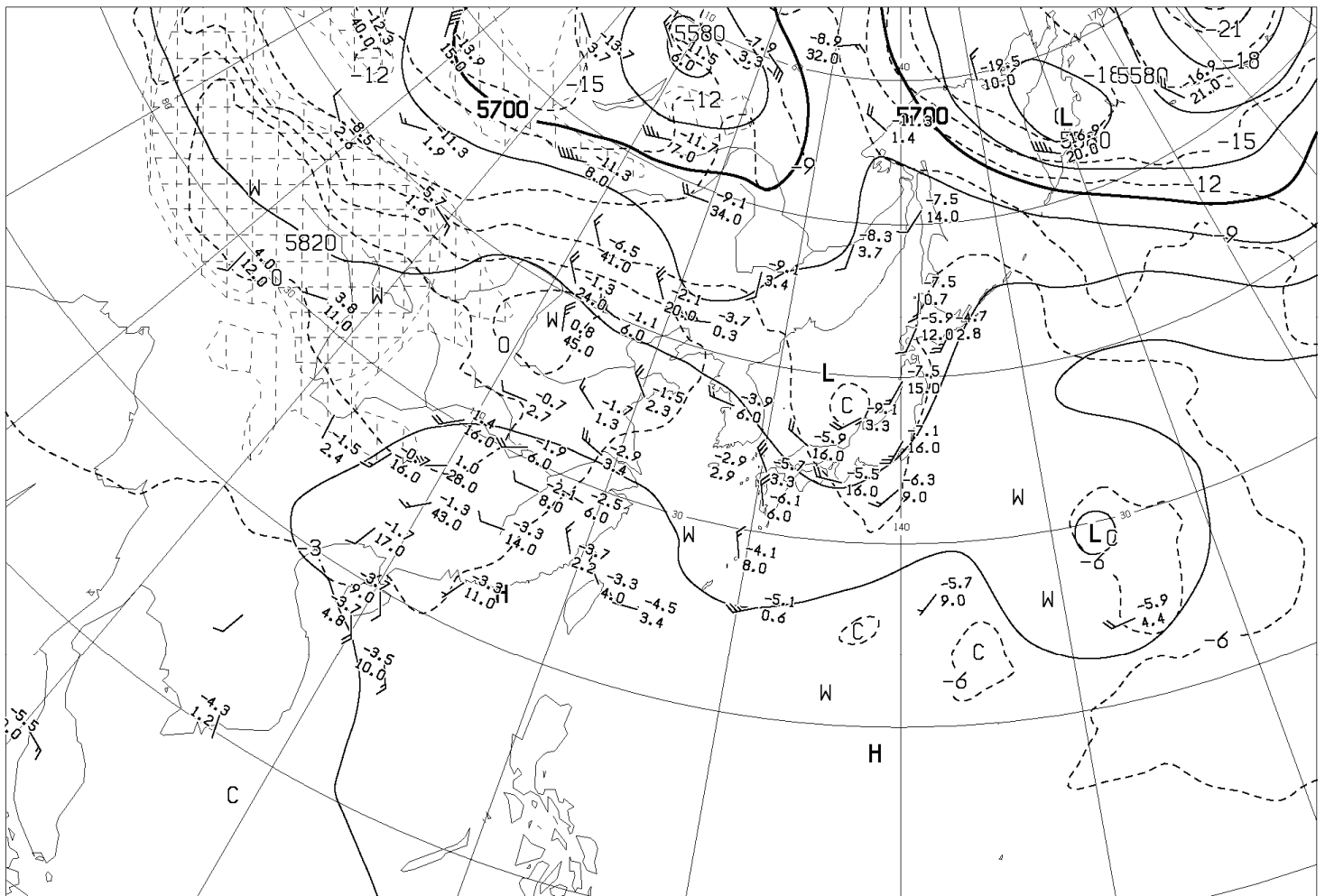


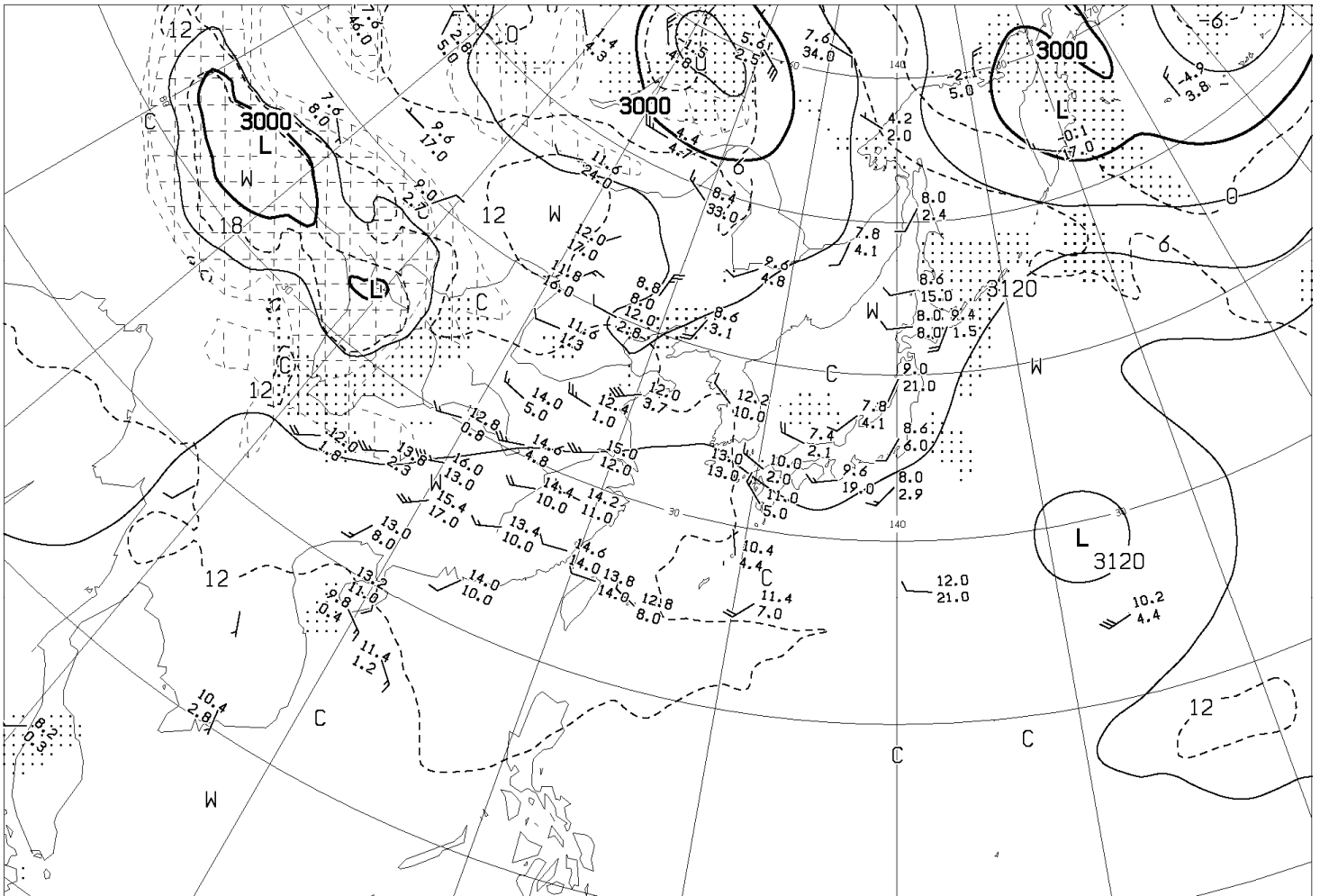
- [AUPA20] アジア太平洋 200hpa 高度・気温・風・圏界面
- [AUPQ35] アジア 500hpa 300hpa 解析図
- [AUPQ78] アジア 850hpa 700hpa 解析図
- [AXFE578] 極東 850hpa 気温・風/700hpa 上昇流/500hpa 高度・渦度



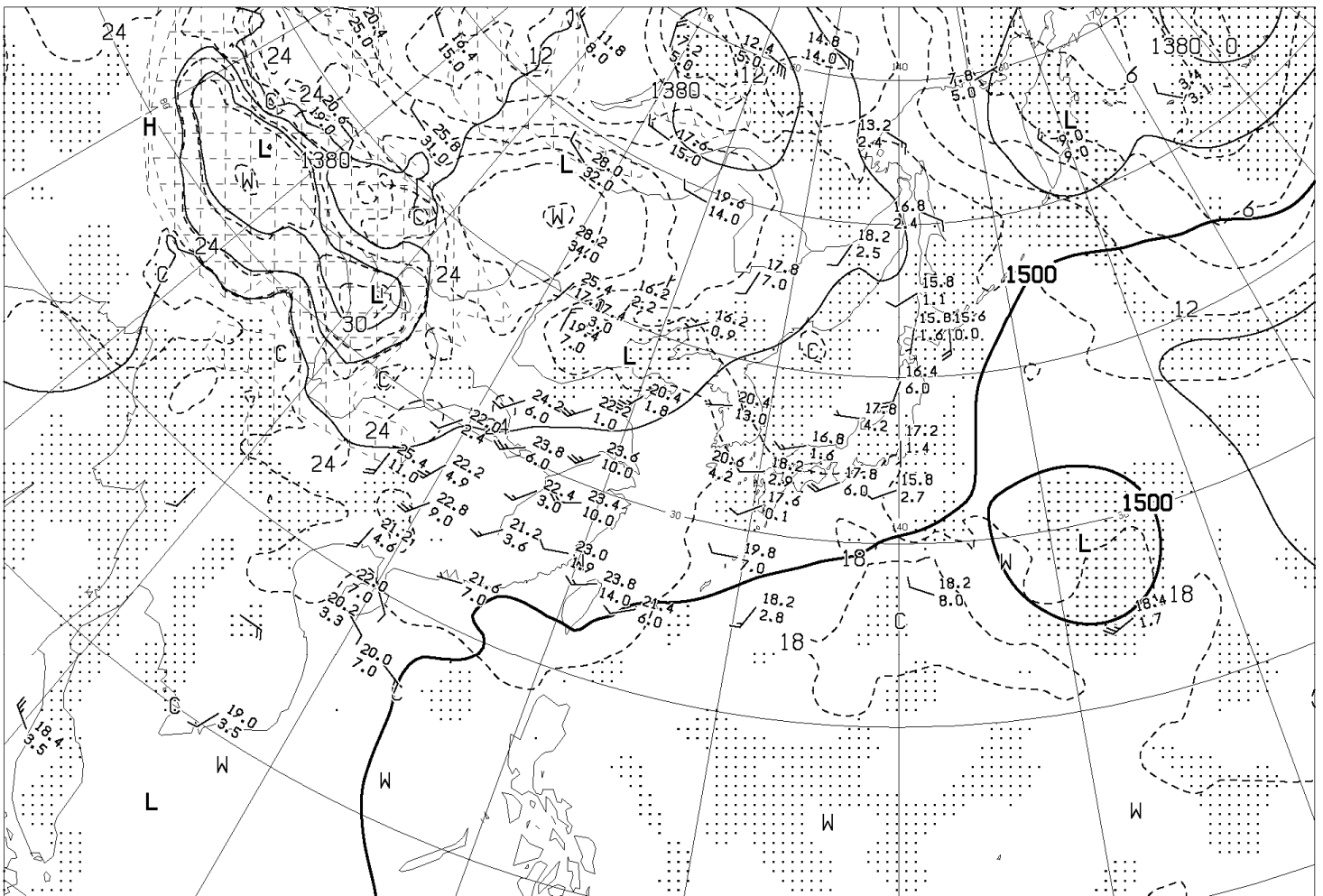


ANALYSIS 300hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), ISOTACH(KT)

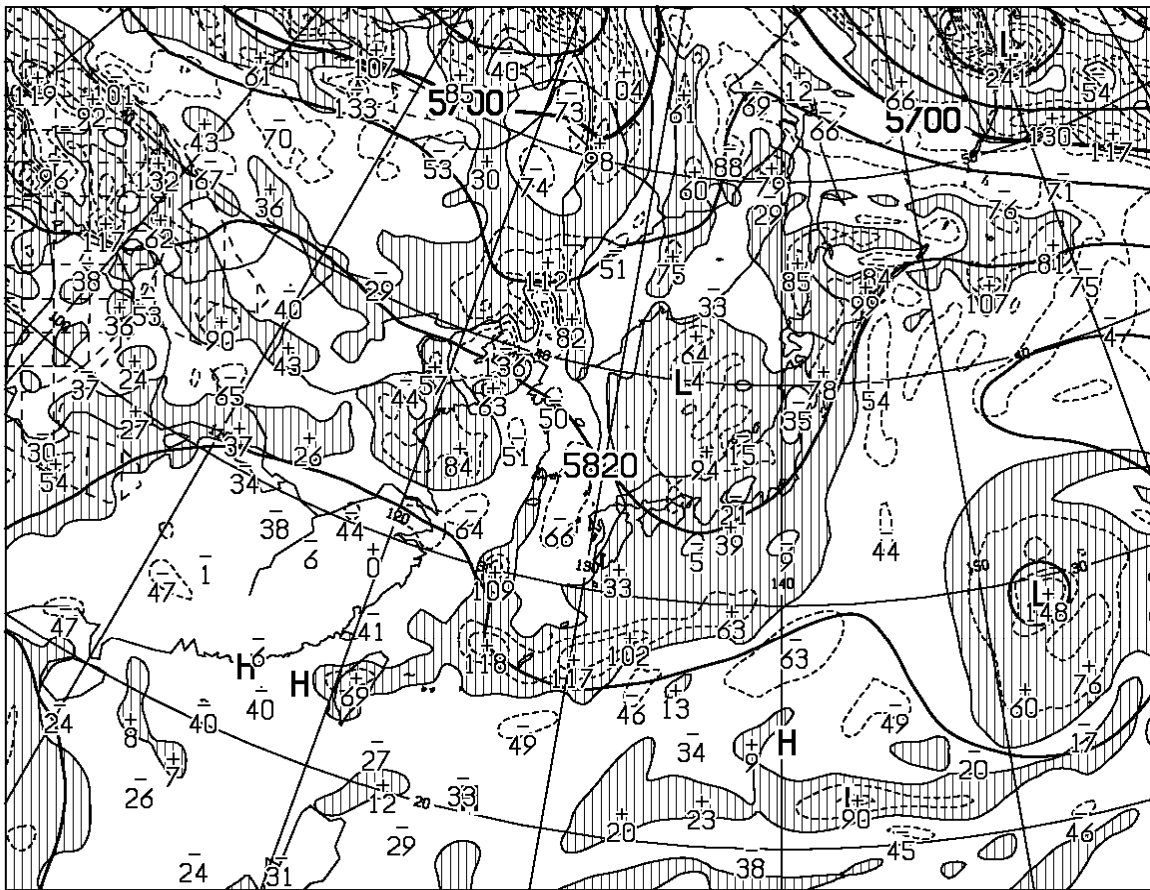




ANALYSIS 700hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), WET AREA::(T-TD<3°C)

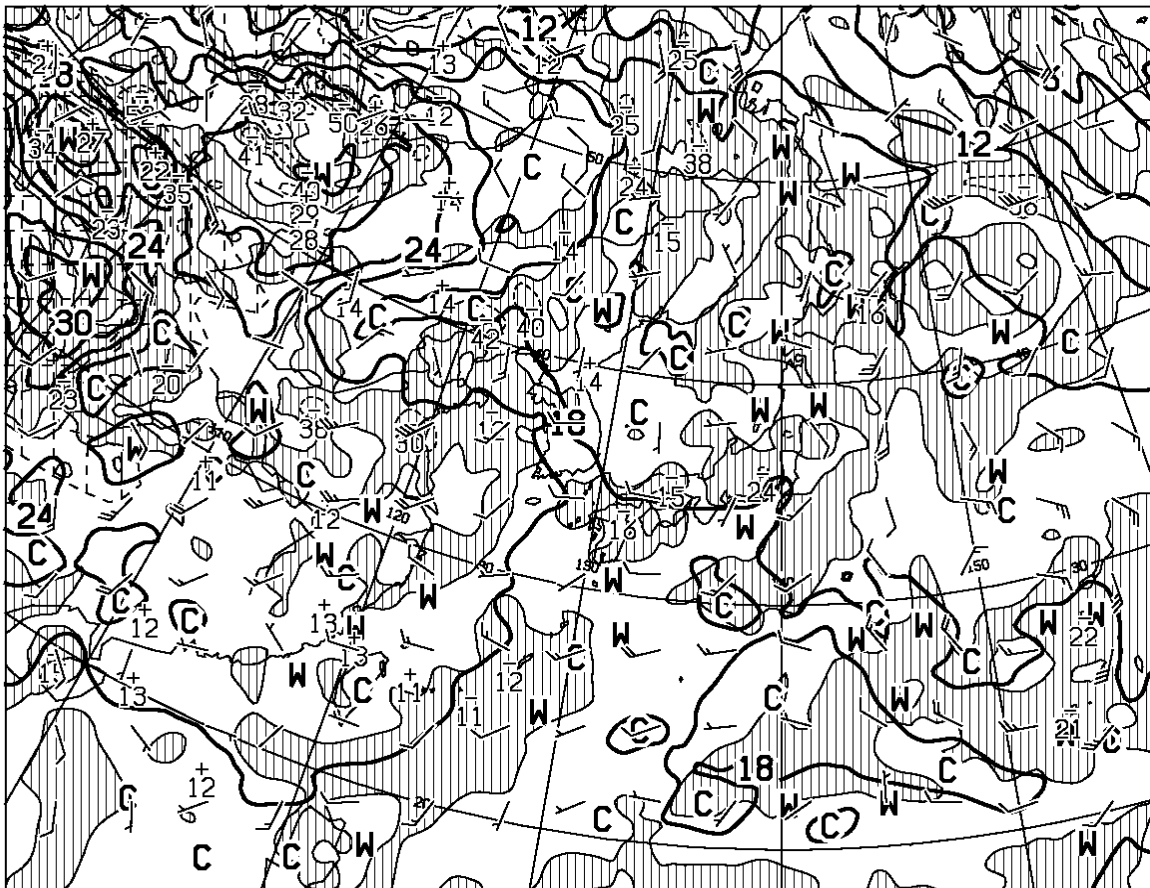


ANALYSIS 850hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), WET AREA::(T-TD<3°C)



T=00

HEIGHT (M), VORT (10\*\*<sup>-6</sup>/SEC) AT 500hPa



T=00

TEMP (C), WIND ARROW AT 850hPa  
P-VEL (hPa/h) AT 700hPa

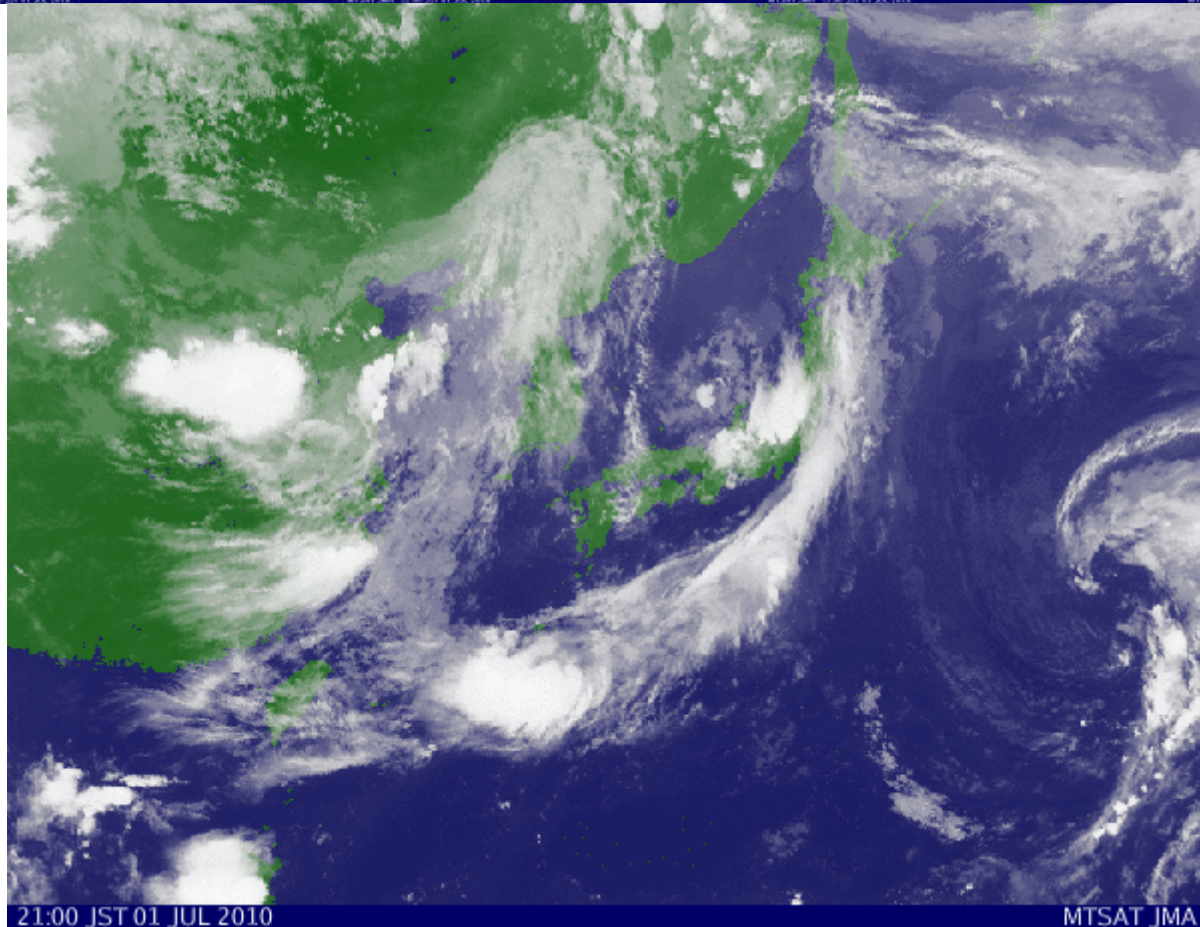
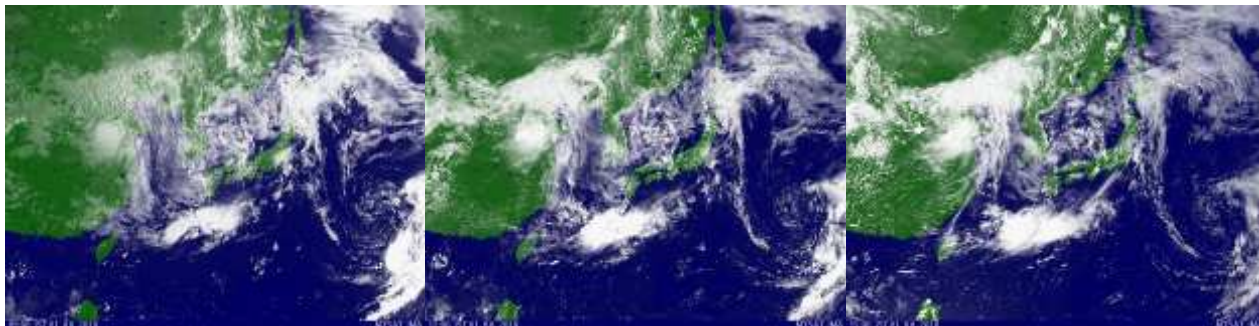
AXFE578

011200UTC JUL 2010

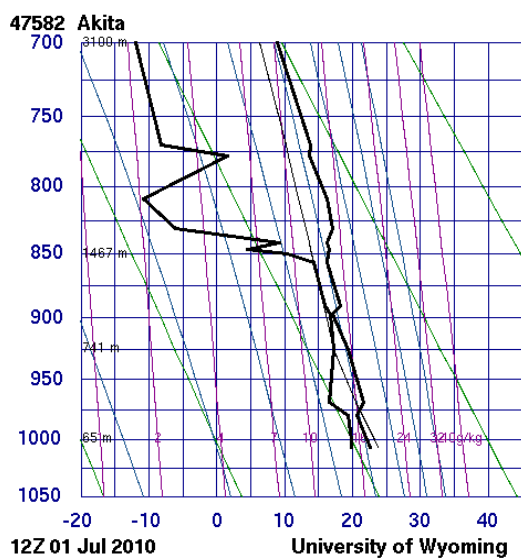
Japan Meteorological Agency



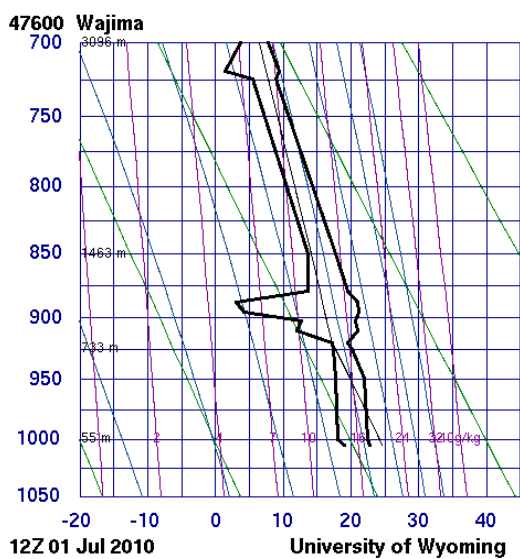
[雲画像解析情報図]



[エマグラム など]



SLAT	39.71
SLON	140.10
SELV	7.00
SHOW	3.08
LIFT	1.01
LFTV	0.56
SWET	225.5
KINX	13.30
CTOT	17.90
VTOT	23.90
TOTL	41.80
CAPE	0.00
CAPV	1.98
CINS	0.00
CINV	-221
EQLV	-9999
EGTV	594.8
LFCT	-9999
LFCV	615.2
BRCH	0.00
BRCV	0.07
LCLT	290.7
LCLP	935.8
MLTH	296.3
MLMR	13.79
THCK	5735
PWAT	31.13



SLAT	37.38
SLON	136.90
SELV	14.00
SHOW	-2.14
LIFT	-0.77
LFTV	-0.95
SWET	201.2
KINX	36.40
CTOT	22.70
VTOT	26.90
TOTL	49.60
CAPE	179.4
CAPV	207.2
CINS	-262
CINV	-234
EQLV	297.5
EGTV	296.5
LFCT	632.3
LFCV	636.4
BRCH	26.94
BRCV	33.43
LCLT	290.1
LCLP	917.7
MLTH	297.4
MLMR	13.49
THCK	5725
PWAT	46.81